

公立高校の定時制・通信制に 進学を希望するみなさんへ

定時制・通信制
の生活は？

→p. 1～2



定時制・通信制
の生徒募集は？

→p. 3～5



タイプ別の
定時制・通信制

→p. 5



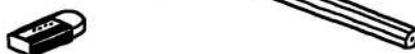
定時制・通信制
課程の設置校

→p. 6



教育相談を
御利用ください。

→p. 7



学習の方法は？

定時制には、学びの形態によって、以下のものがあります。



夜間

17時30分ごろに授業が始まり、21時ごろまで4時限の授業を受け、その後、部活動などに参加することができます。（授業時間帯を広げている学校もあります。）

特別の時間

フレキシブルスクール（県立川崎高等学校、県立厚木清南高等学校）

午後から夜間の時間帯を中心とした幅広い時間帯を活用して授業を行います。



多部制（県立横浜明朋高等学校、県立相模向陽館高等学校）

午前・午後の2つの時間帯で授業を展開しています。

三部制（横浜市立横浜総合高等学校）

午前・午後・夜間の3つの時間帯で授業を展開しています。

二部制（川崎市立川崎高等学校）

午後・夜間の2つの時間帯で授業を展開しています。

生徒会などの特別活動や部活動

- ・生徒会やホームルーム、部活動もあります。
- ・部活動は、主に放課後に1時間程度行います。
- ・全日制と一緒に文化祭を実施する学校もあります。

学習の内容は、全日制と同じです。卒業時に与えられる資格は変わりません。また、通信制での学習成果を単位として認める学校もあります。

必要な費用は？

区 分	県 立	横浜市立	川崎市立	横須賀市立
受 検 料	950 円	650 円	950 円	950 円
入 学 料	2,100 円	1,200 円	2,100 円	2,100 円
授 業 料	年額 32,400 円	年額 32,400 円	年額 32,400 円	年額 32,400 円

（注：平成29年度のものです）

上記の費用のほか、生徒会費、PTA会費、教育振興費、学年費、体育着、上履き、体育館履き、教科書、修学旅行の積立金などにも必要になります。（ただし、学校ごとに必要な費用、内容は異なります。なお、教科書は条件を満たせば還付請求ができる制度があります。（平成29年度現在））また、受検料・入学料の減免や授業料の負担をなくす制度、奨学金の制度があります。詳しくは各高校にお問合せください。※ 受検料・入学料は、県立、市立ではそれぞれ名称が異なります。

卒業するには？

卒業に必要な修得単位数は74単位以上で、各学校で定められており、4年かけて卒業します。卒業時に与えられる資格は、全日制・通信制と変わりません。また、通常の授業に加え選択授業を受けることや、技能審査や高等学校卒業程度認定試験合格科目の単位認定などにより、一定の条件を満たせば、3年で卒業できる学校もあります*。

*3年で卒業できる学校は？

〔県 立〕

横浜翠嵐、希望ヶ丘、横須賀、追浜、茅ヶ崎、伊勢原、津久井、神奈川工業、小田原城北工業、川崎、湘南、小田原、厚木清南、横浜明朋、相模向陽館、磯子工業、向の岡工業、平塚商業、神奈川総合産業、秦野総合

〔横浜市立〕 横浜総合

〔川崎市立〕 川崎、橋、高津

〔横須賀市立〕 横須賀総合

その他

所得税の勤労学生控除が認められています。

学習の方法は？

通信制高校の学習

報告課題(レポート)、面接指導(スクーリング)および試験が通信制の学習を理解するための3つのキーワードです。

報告課題(レポート)

添削指導を受けるための課題です。科目ごとに通数が決められていて、先生の添削後、返送されます。

面接指導(スクーリング)

登校して先生から直接指導を受けます。日曜スクーリングのほかに、夏季スクーリングや平日の登校講座を設けているところもあります。

試験

決められた回数のレポートやスクーリングを終えると、受験できます。試験に合格すると、単位の修得が認定されます。

県立横浜修悠館高校の特色

- 通信制の独立校
- 月曜日から木曜日までの平日の昼間に登校して、きめ細かな指導を受けながら学習する「平日登校講座」
- 日曜に登校して学習する「日曜講座」
- ITを活用して学習する「IT講座」
- 単位制の仕組みを生かし、興味・関心、進路希望などに応じた自分だけの履修計画を作成します
- 多彩な選択科目が設定されています

県立厚木清南高校の特色

- 全日制、定時制、通信制を一体化して展開するフレキシブルスクール
- 自学自習を基本とする学び
- 日曜スクーリングと教科スクーリング(火曜実施)を中心に学習
- 春季基礎スクーリング(4月)、夏季スクーリング(8月)、夜間スクーリングを開講
- 学習相談の日を設定(毎週木曜日午後)
- 試験は、日曜日や平日に年間14日間程度設定

必要な費用は？

受検料及び入学料は無料です。入学時の学費として、受講料、諸会費、教科書・学習書費、補助教材費などがあります。(必要な費用については、学校ごとに異なります。なお、教科書・学習書費は条件を満たせば還付請求ができる制度があります。(平成29年度現在))

また、奨学金の制度があります。詳しくは各高校にお問合せください。

卒業するには？

修業年限は3年以上、最低修得単位数は74単位です。

卒業時に与えられる資格は、全日制・定時制と変わりありません。

その他

- 学習する際に託児を希望する場合は、各高校にご相談ください。
- 所得税の勤労学生控除が認められています。
- 自宅と学校間の通学に際して、鉄道運賃の割引があります。(割引率は鉄道会社によって異なりますので、詳細は各鉄道会社にお問合せください。)

平成30年度の生徒の募集について

1 志願資格

中学校を卒業見込みの人もしくは卒業した人、または中学校を卒業していない人でもこれと同じ学力があると認められた人で、県内に住所か勤務先のどちらかがある人ならば、志願できます。

※ 横浜市立横浜総合高校については、県内に住所があるか、横浜市内に勤務地がある人、川崎市立の高校の普通科については、県内に住所があるか、川崎市に勤務地がある人です。

2 募集方法

(1) 一般募集

【共通選抜】……全ての定時制高校で実施します。募集定員の80%を募集します*。

【定通分割選抜】……夜間の定時制高校で実施します。共通選抜の募集人員を差し引いた人員を募集します。

*定通分割選抜を実施しない高校

(共通選抜で募集定員の100%募集)

【特別の時間】 県立川崎高校
県立厚木清南高校
【多部制】 県立横浜明朋高校
県立相模向陽館高校
【三部制】 横浜市立横浜総合高校
【二部制】 川崎市立川崎高等学校

(2) 在県外国人等特別募集（県立相模向陽館高校）……共通選抜と同日程で実施します。

3 募集期間および受付時間

募集期間を同じくする他の課程との同時志願はできませんが、定通分割選抜と共通選抜二次募集は同時に志願できます。

【共通選抜】 平成30年1月29日（月）及び 30日（火）は午後2時～午後7時
31日（水）は午後2時～午後4時

※ 県立横浜明朋高校、県立相模向陽館高校及び横浜市立横浜総合高校は
午前9時～正午、午後1時～午後4時（ただし、1月31日（水）は午前9時～正午）

【定通分割選抜】平成30年3月1日（木）午後2時～午後7時
3月2日（金）午後2時～午後4時

在県外国人等特別募集の志願資格

定時制の課程の志願資格を満たしていることに加えて、外国の国籍を有する人（難民と認定された人を含む）、または、日本国籍を取得して3年以内の人で、いずれの場合も、入国後の在留期間が平成30年2月1日現在、通算で3年以内の人

4 志願変更期間および受付時間

募集期間を同じくする他の課程との間でも志願変更ができます。

【共通選抜】 平成30年2月5日（月）及び 6日（火）は午後2時～午後7時
7日（水）は午前9時～正午

※ 県立横浜明朋高校、県立相模向陽館高校及び横浜市立横浜総合高校は
午前9時～正午、午後1時～午後4時（ただし、7日（水）は午前9時～正午）

【定通分割選抜】平成30年3月5日（月）午後2時～午後7時
3月6日（火）午前9時～正午、午後1時～午後4時

5 志願の手続き

次の書類等を期日までに志願先の高等学校へ提出してください。（郵送では受け付けできません。）

- (1) 入学願書（所定の用紙に記入し、中学校長の証明を得たもの。）
- (2) 面接シート（県立相模向陽館高校は別様式）
- (3) 申請書（該当する人のみ提出）及び学校独自の様式による書類（該当する学校に志願した人のみ提出）
- (4) 受検料の収入済証明書または受検料（県立、川崎市立及び横須賀市立：950円、横浜市立：650円）

その他、調査書は、中学校から志願先の高等学校に提出されます。

※ 20歳以上（平成30年4月1日現在）の人は、調査書を提出する必要はありません。

※ 県立高等学校、横浜市立高等学校及び川崎市立高等学校の受検料は、原則として納付書により県または市の指定する金融機関に納付してください。横須賀市立高等学校については、志願先の高等学校の志願受付時に直接納付してください。

※ 願書は志願先の高等学校、その他の必要書類は、出身中学校または志願先の高等学校で受け取ってください。

※ 県立相模向陽館高校では、資料を欠く受検者に配慮した選考を行いますので、長期欠席者であっても、「長期の欠席を理由とする選抜方法申請書」等（第7～9号様式）の提出の必要はありません。

6 学力検査等

学力検査（外国語（英語）・国語・数学の3教科）及び面接等を、志願先の高等学校で次の日程で行います。各校の特色に応じて特色検査を実施する場合があります。

【共通選抜】 平成30年2月14日（水）（学力検査等）、15日（木）・16日（金）（面接等）
平成30年2月20日（火）（追検査）

【定通分割選抜】平成30年3月13日（火）（学力検査等）、14日（水）（面接等）

※ 県立相模向陽館高校の在県外国人等特別募集は2月14日（水）に学力検査（外国語（英語）・国語・数学の3教科）と面接を行います。

※ 20歳以上（平成30年4月1日現在）の人は、事前に申告する（入学願書の「作文」にマルをつける）と、学力検査を作文に代えることができます。

※ インフルエンザの罹患等、やむを得ない事情により共通選抜及び特別募集における学力検査を受検できなかった志願者を対象として追検査を実施します。

7 選考の方法および合格者の発表

調査書、実施した検査の結果等を資料として、定められた算出方法により選考します。合格者の発表は、次のとおり志願先の高等学校で行います。

【共通選抜】 平成30年2月27日（火）午後3時～午後6時

〔※ 県立横浜明朋高校、県立相模向陽館高校及び横浜市立横浜総合高校は、午前10時～正午〕

【定通分割選抜】平成30年3月20日（火）午後3時～午後6時

横浜明朋、相模向陽館高校の調査書の扱い

調査書の評定は使わず、観点別学習状況を活用し総合的に選考します。

8 入学手続き

合格者は、合格通知書の交付を受け、入学料の収入済証明書または入学料とともに、校長が指定する日までに次の書類を提出してください。

(1) 誓約書 (2) その他学校で指示する書類

※ 指定された期間内に、手続きを行わなかった人は、入学の許可が取り消されることがあります。

通 信 制

平成30年度の生徒の募集について

1 志願資格

中学校を卒業見込みの人もしくは卒業した人、または中学校を卒業していない人でもこれと同じ学力があると認められた人で、県内に住所か勤務先のどちらかがある人ならば、志願できます。

2 募集方法

【共通選抜】で募集定員の80%、【定通分割選抜】で共通選抜の募集人員を差し引いた人員を募集します。

3 募集期間および受付時間（募集期間を同じくする他の課程との同時志願はできません。）

【共通選抜】 平成30年1月29日（月）及び 30日（火）は午前9時～正午、午後1時～午後4時
31日（水）は午前9時～正午

【定通分割選抜】平成30年3月1日（木）午前9時～正午、午後1時～午後5時
2日（金）午前9時～正午、午後1時～午後4時

4 志願変更期間および受付時間（募集期間を同じくする他の課程との間でも志願変更ができます。）

【共通選抜】 平成30年2月5日（月）及び 6日（火）は午前9時～正午、午後1時～午後4時
7日（水）は午前9時～正午

【定通分割選抜】平成30年3月5日（月）午前9時～正午、午後1時～午後7時
6日（火）午前9時～正午、午後1時～午後4時

5 志願の手続き

次の書類を期日までに志願先の高等学校へ提出してください。（郵送では受け付けできません。）
受検料は不要です。

(1) 入学願書（所定の用紙に記入し、中学校長の証明を得たもの。）

(2) 申請書（該当する人のみ提出）

※ 調査書は、中学校から志願先の高等学校に提出されます。

※ 20歳以上（平成30年4月1日現在）の人は、調査書を提出する必要はありません。

※ 願書は志願先の高等学校、その他の必要書類は、出身中学校または志願先の高等学校で受け取ってください。

6 検 査

作文検査を、志願先の高等学校で次の日のうちからいずれか定められた日に行います。

【共通選抜】 平成30年2月14日(水)・15日(木)・16日(金)

【定通分割選抜】 平成30年3月13日(火)・14日(水)

7 選考の方法および合格者の発表

各学校が定める「選考基準」に基づき、調査書、検査の結果等を資料として、総合的に選考します。

合格者の発表は、次のとおり志願先の高等学校で行います。

【共通選抜】 平成30年2月27日(火) 午前10時～正午、午後1時～午後3時

【定通分割選抜】 平成30年3月20日(火) 午前10時～正午、午後1時～午後3時

8 入学手続き

合格者は、合格通知書の交付を受け、校長が指定する日までに次の書類を提出してください。

(1) 誓約書 (2) その他学校で指示する書類

※ 指定された期間内に、手続きを行わなかった人は、入学の許可が取り消されることがあります。

いろいろなタイプの定時制・通信制

学ぶ内容・学びのしぐみの違ういろいろなタイプの学校があります。

普通科

☆ ほとんどの科目についてクラス単位で学び、1学年ずつ進級していきます。

県立横浜翠嵐高校(定時制)

県立希望ヶ丘高校(定時制)

県立横須賀高校(定時制)

県立追浜高校(定時制)

県立茅ヶ崎高校(定時制)

県立伊勢原高校(定時制)

県立津久井高校(定時制)

横浜市立戸塚高校(定時制)

川崎市立川崎高校(二部制定時制)

川崎市立橘高校(定時制)

川崎市立高津高校(定時制)

単位制による普通科

☆ 学年の区分がなく自分で時間割を設定でき普通科目を中心に幅広い分野の選択科目を学びます。

県立湘南高校(定時制)

県立小田原高校(定時制)

県立横浜明朋高校(多部制定時制)

県立相模向陽館高校(多部制定時制)

県立横浜修悠館高校(通信制独立校)

フレキシブルスクール

☆ 自分の生活スタイルや学習ペースに合わせて午前・午後・夜間それぞれの時間帯から選択して授業が受けられます。

県立川崎高校(定時制)

県立厚木清南高校(定時制・通信制)

専門学科

☆ 専門性の高い科目(専門科目)を普通科や総合学科に比べて多く学び、将来のスペシャリストをめざします。

県立神奈川工業高校(定時制)

県立小田原城北工業高校(定時制)

川崎市立川崎総合科学高校(定時制)

総合学科

☆ 単位制の仕組みにより普通科の内容と専門学科の内容を主体的に選択し学習します。

県立磯子工業高校(定時制)

県立向の岡工業高校(定時制)

県立平塚商業高校(定時制)

県立秦野総合高校(定時制)

県立神奈川総合産業高校(定時制)

横浜市立横浜総合高校(三部制定時制)

横須賀市立横須賀総合高校(定時制)

公立高校定時制の課程・通信制の課程の設置校

【定時制の課程(単位制を除く)】

(平成30年度入学者募集校)

1 普通科

学 校 名	学 科 等	所 在 地	電 話
県立横浜翠嵐(夜間)	普通科	横浜市神奈川区三ツ沢南町1-1	(045)311-6012
県立希望ヶ丘(夜間)	普通科	横浜市旭区南希望が丘79-1	(045)361-5880
県立横須賀(夜間)	普通科	横須賀市公郷町3-109	(046)851-0128
県立追浜(夜間)	普通科	横須賀市夏島町13	(046)865-6912
県立茅ヶ崎(夜間)	普通科	茅ヶ崎市本村3-4-1	(0467)54-1922
県立伊勢原(夜間)	普通科	伊勢原市田中1008-3	(0463)95-5968
県立津久井(夜間)	普通科	相模原市緑区三ヶ木272-1	(042)784-7368
横浜市立戸塚(夜間)	普通科	横浜市戸塚区汲沢2-27-1	(045)871-0301
川崎市立川崎(二部制)	普通科 昼間部、夜間部	川崎市川崎区中島3-3-1	(044)244-4981
川崎市立橋(夜間)	普通科	川崎市中原区中丸子562	(044)411-2640
川崎市立高津(夜間)	普通科	川崎市高津区久本3-11-1	(044)811-2555

2 工業に関する学科

学 校 名	学 科 等	所 在 地	電 話
県立神奈川工業(夜間)	機械科、建設科、電気科	横浜市神奈川区平川町19-1	(045)491-9443
県立小田原城北工業(夜間)	機械科・電気科(2学科を合わせて募集)	小田原市栢山200	(0465)36-0142
川崎市立川崎総合科学(夜間)	クリエイト工学科	川崎市幸区小向仲野町5-1	(044)511-7336

3 商業に関する学科

学 校 名	学 科 等	所 在 地	電 話
川崎市立川崎総合科学(夜間)	商業科	川崎市幸区小向仲野町5-1	(044)511-7336

【単位制による定時制の課程】

1 普通科

学 校 名	学 科 等	所 在 地	電 話
県立川崎(特別の時間)	単位制普通科	川崎市川崎区渡田山王町22-6	(044)344-6857
県立湘南(夜間)	単位制普通科	藤沢市鵜沼神明5-6-10	(0466)26-8141
県立小田原(夜間)	単位制普通科	小田原市城山3-26-1	(0465)23-1063
県立厚木清南(特別の時間)	単位制普通科	厚木市岡田1-12-1	(046)228-1608
県立横浜明朋(多部制)	単位制普通科 午前部、午後部	横浜市港南区港南台9-18-1	(045)836-1680
県立相模向陽館(多部制)	単位制普通科 午前部(一般募集、特別募集) 午後部(一般募集、特別募集)	座間市ひばりが丘3-58-1	(046)298-3455

2 総合学科

学 校 名	学 科 等	所 在 地	電 話
県立磯子工業(夜間)	総合学科	横浜市磯子区森5-24-1	(045)761-1451
県立向の岡工業(夜間)	総合学科	川崎市多摩区堰1-28-1	(044)833-6544
県立平塚商業(夜間)※	総合学科	平塚市中里50-1	(0463)31-1658
県立神奈川総合産業(夜間)	総合学科	相模原市南区文京1-11-1	(042)742-5703
県立秦野総合(夜間)	総合学科	秦野市南が丘1-4-1	(0463)82-1434
横浜市立横浜総合(三部制)	総合学科 I部、II部、III部	横浜市南区大岡2-29-1	(045)744-1900
横須賀市立横須賀総合(夜間)	総合学科	横須賀市久里浜6-1-1	(046)833-4074

※ 県立平塚商業高等学校(夜間)は平成32年度に県立高浜高等学校に移行します。移行後は、県立高浜高等学校(夜間)の生徒として卒業します。

【単位制による通信制の課程】

学 校 名	学 科	所 在 地	電 話
県立横浜修悠館	単位制普通科	横浜市泉区和泉町2563	(045)800-3711
県立厚木清南	単位制普通科	厚木市岡田1-12-1	(046)228-1612

定時制・通信制で高校教育を受けたい方は 教育相談をご利用ください！！

神奈川県では、下記の相談場所に教育相談専門員がおり、定時制・通信制に進学を希望するみなさんの相談に応じています。

- ◆ 教育相談専門員は、相談者の方からの電話あるいは来所しての……
 - 定時制・通信制に進学を希望する方々のための相談
 - 中卒就職者を雇用している事業主の方からの高校就学についての相談
 - 県外からの転入により、定時制・通信制への転入学・編入学の場合の相談

……に応じています。

◇ 定時制・通信制への進学に関しては、ぜひ、教育相談をご利用ください。

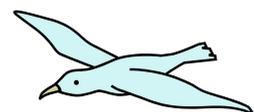
相談場所	所在地	電話番号	相談日・時間
転編入学情報センター	横浜市中区日本大通33 住宅供給公社ビル6階	(045) 210-8234~5 (直通)	月～金 (祝休日・12/29～1/3を除く) 8時30分～17時15分

◇ 発達・学習・不登校など、教育全般についての相談は、次の電話相談をご利用ください。

相談場所	所在地	電話番号	相談日・時間
県立総合教育センター 教育相談センター	藤沢市亀井野2547-4	【総合教育相談】 (0466) 81-0185 【発達教育相談】 (0466) 84-2210	12/29～1/3を除く毎日 8時30分～21時 (土・日・祝休日は17時15分まで)

※ ご相談の内容によって、来所相談をお勧めすることがあります。

- ◆ 上記の教育相談場所以外でも問合せに応じています。
問合せは、各定時制・通信制を設置している各高校（前記の設置校一覧、問合せ先参照）
または各教育委員会（下記参照）へ



神奈川県教育委員会	教育局指導部高校教育課 入学者選抜・定員グループ	電話(045) 210-8084(直通)
横浜市教育委員会	事務局指導部高校教育課	電話(045) 671-3887(直通)
川崎市教育委員会	事務局学校教育部指導課	電話(044) 200-3243(直通)
横須賀市教育委員会	事務局学校教育部教育指導課	電話(046) 822-8479(直通)